（和名なし）エリシフェ・クサノイ（エノキうどんこ病菌）

CC BY

Erysiphe kusanoi

ウドンコカビ目ウドンコカビ科

採集者	中島淳志
採集日	2016/10/16
採集場所	神奈川県逗子市池子

◆観察ノート

・**うどんこ病菌**、ごぞんじ植物病原菌です
・**エノキ**の幼木の**葉の両面**に発生していました
・**閉子嚢殻**（子嚢と子嚢胞子を含む粒）から放射状に多数の透明な菌糸**（付属糸）**が伸びています
・付属糸の先端はくるっと**巻き毛状に丸まっています**
・子嚢と子嚢胞子も観察したかったのですが、押しつぶしてもよく分かりませんでした

◆分類学的情報

・うどんこ病菌の分類には**付属糸の形状**が重要です、本種の付属糸の丸まった形も重要です
・また、**葉の表に生えるか裏に生えるか**というのもこの仲間の分類には重要な情報です

◆よく似た種との識別

・同じエノキに発生するうどんこ病菌に「**エノキ裏うどんこ病菌**（プレオケータ・シライアナ）」があり、同一の葉に発生することもあります
・ただ、エノキ裏うどんこ病菌はその名の通り、**葉の裏のみに発生する**点で本種と異なります
・エノキ裏うどんこ病菌も**付属糸の先端が同様に丸まりますが**、付属糸の数が本種より**圧倒的に多数**です
・また、**閉子嚢殻が本種よりずっと大きく**、**コロニーが淡黄色**であることでも区別されます [1]

同定のエビデンス

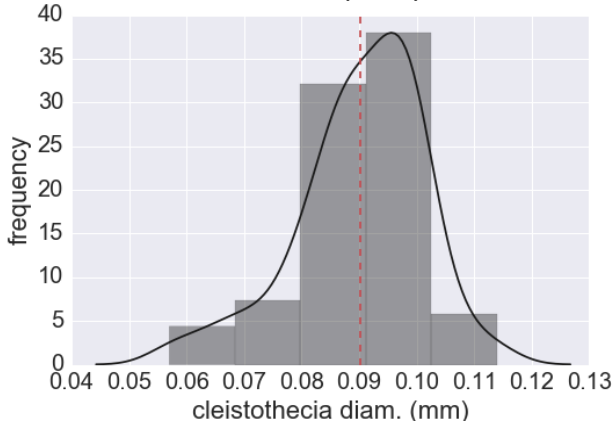
（エビデンス1）Gautam, A., 2014. Powdery mildew of *Celtis australis* : a report from Himachal Pradesh, India.

（エビデンス2）Ranković, B., 2000. Fungi of the genus *Uncinula* in Serbia. Cryptogamie Mycologie.

（大菌輪 R3-00443）

	供試標本	Gautam (2014)	Ranković (2000)
菌糸体の位置	葉の両面	葉の両面	葉の両面
閉子嚢殻の直径	平均約90 µm（下図参照）	95-130(-180) µm	80-102 µm
閉子嚢殻の色	幼時無色～淡褐色、成熟時黒色	黒色	褐色～暗褐色
閉子嚢殻の付属糸の数	約20	13-22	5-18(-20)
閉子嚢殻の付属糸の幅	6-7.5 µm	-	4-7.5 µm
閉子嚢殻の付属糸の先端	巻き毛状、コイル状、鉤状	巻き毛状、コイル状、鉤状	巻き毛状～類らせん状
子嚢のサイズ	-	40–65 × (25–)30–50 µm	45-57 x 28-40 µm
子嚢胞子のサイズ	-	25–32.5 × 10–18 µm	18-25 x 11-14 µm
分生子柄のサイズ	-	14–30 × 6–9 µm	-
分生子のサイズ	-	25–40(–45) × 11–18 µm	-

図1：閉子嚢殻の直径 (n=60)



ave = 0.09 mm

参考リンク

[1] Takamatsu, S., Shiyoya, Y. & Seko, Y. 2016. Geographical and spatial distributions of two *Erysiphe* species occurring on lilacs (*Syringa* spp.) Mycoscience. 57: 349-355